徳地町報

発行所 徳地町役場
発行者 坂本諦介
編集者 河村續
印刷所 今澄印刷所

町政一年を回顧して

助役 長嶺政男

意義深い昭和三十年もいよいよ余すところ旬余となり、町制第二年を迎えることになりますが、顧りみるに本年は吾々の永久に忘れることのできない、大徳地町誕生の記念すべき年であります。

新春早々から合併問題が熱心に研究討議せられ、各村民間の意見の一致を見て、旧各村議会は四月一日を以て新町の発足を決議しました。

四月一日旧出雲村長坂本諦介氏を町長職務執行者として全職員を引継ぎ、出雲公民館に於て新町の開庁式を行い、四月十八日第一回町議会を招集諸条例の制定、暫定予算を議決確定して、茲に新町は本格的前進を開始したのであります。

四月二十三日新町議三十名、仝二十八日町長の正式決定を見、越えて五月十七日第一回町議会を招集、正副議長、助役、収入役等決定せられ、町の諸機構は完備せられ本来の使命に邁進することになりました。

本町は全国屈指の広面積を有する大町でありますので、町機構も四課十四係四支所を設置し、財政再建を主眼とし町民の福利増進を基調として進んで来たのであります。

先づ産業面に於ては米麦等主要食糧の増産を主体に特産物の増殖に意を注き、町民各位の理解と協力のもとに着々成果をあげつつあります。

殊に婦人団体、青年4Hクラブ等の真剣な研究と協力体制は町発展の礎石として大に期待すべきものがあります。

林業関係に於きましても約一万町歩に近い町有林を有して居る関係上、造林十年計画を樹立して森林資源の確保と町将来の財源確立に努力しつつあり、その第一年度事業は目下進行中であります。

災害復旧関係に於きましては、前年度の繰越し工事のしため大きなものはでていませんが、重要な箇所から順次施工本会計年度末までには、面目を一新する事と考えています。

次に厚生方面では、遺家族の慰問激励要保護者並に母子家庭の生活安定等各地区民生委員諸氏の御協力で万全を期しつつあります。

教育方面に於ては、町教育委員会の適切なる指導と、学校当局、PTA諸氏の熱心な御協力により着々向上充実の道を歩んで居ります。

又公共建築関係では柚野支所管内の診療所新築及柚野支所、駐在所、柚野小、中学校の水没改築移転も順調に運び、近く竣工の予定であり、又堀小学校も近く老朽校舎を新築する事になつて居ります。

税関係に於きましても、町民皆様方の絶大なる理解と御協力によりまして、徴収も向上の一途をたどり誠に喜ぶべき現象でありますが、向後一層の御協力をお願いする次第であります。

何分合併当初でありますので、町民各位に対しまして何かと不行届の点、御不満の点も多々あることと存じますが御気付の点は御遠慮なくどしど御申込願つて、最善を尽したいと存じます。

今年は植付当時から天候に恵まれ近来稀な豊作で、現在当初の予約売込申込量の一六〇%を上廻る盛況にあり、農家経済の上からも又、食糧政策の点からも慶賀の至りに存じます。

愈々町も進展の一途をたどります際新町誕生の祝賀と将来の発展を祝する意味で、十二月五、六の両日盛大な祝典を挙行致し、各種の行事が行われましたが、中でも島地中学校で催した農業祭は、農林産業に多くの刺激と教訓を与え得たと確信しております。

以上簡単ではありますが町政一年の歩みを御報告致しまして、町民各位の御協力に深厚なる敬意と感謝を捧げる次第であります。

最后に時節も益々寒さに向いますので町民各位に於かれては愈々健康に留意せられ明るく朗かに新春を迎えられるよう念願する次第で御座います。

論壇 林野の復興に努力せよ

光陰は矢の如しとか、戦后十年は夢の間に過ぎたが、今我々はその周囲は勿論、旅行先でも、山という山の殆んどが戦時中のらん伐で、うつそうと茂る大森林は官有地など特殊なものを除いて殆んど見ることができない。

反対に竹ヤブは年々歳々猛烈な勢で侵入し、そのなるがままに放置してあるような有様をよく見受ける。

若しこのまま推移したならばここ数年ならずして、郷土の山は竹ヤブに占領せられるかも分らない。

大徳地町、否、防長、大きくは全国の山野がヤブであろうと雑木であろうと唯緑でさえあれば緑化運動の目的は達せられるというものでなく、その質と内容がよくなければならないことは多言を要しないと思う。

概して竹ヤブなどどんどん侵入するような所は大体地味もよく造林に適した所が多い

こうした所の造林拡大と粗悪林の樹種交換による造林こそ森林資源の保持培養と綜合的国土保全の両面に於て、吾々に課せられた重大使命ではなかろうか？

森林所有者は勿論町当局も学校も、町民全般もお互に力を合せて竹ヤブ粗悪林を速かに処理して美林に転換をはかることこれこそ、限られた国土を集約的且高度に活用する道でありその強力な実践こそ農山村としての当町の新生運動の一環でなければならないと考えあえて拙文を草した所以である（愛町生）

お互に人権を尊重しよう

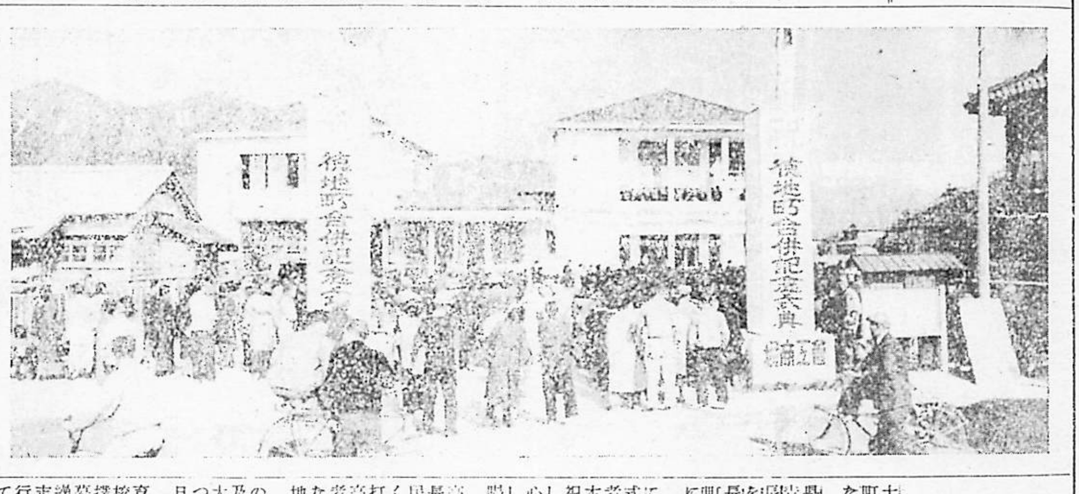
国連十周年記念を兼ね今年も十二月四日から一週間人権週間が展開せられ

(1)暴力の排げき
(2)人権をかろんずる旧い因習の打破

を主点に猛運動が行われた。

もとよりこの思想はこれを日常生活に深く浸透してこそその目的に達せられるのであつて、私達は老幼男女を問わずお互の立場や人格と共にその人間としての権利を尊重しあい、明るい社会の建設に努力しあうことが、公民としての当然の任務ではありますまいか尚当町内にも法務省から委嘱せられた次の三氏が人権ようご委員をしておられますから御遠慮なく御相談下さい

小田基衛氏（島地）
藤井信一氏（出雲）
小野慶治氏（八坂）



全町あげて祝う 大徳地町誕生記念式 盛大に行われる

町では菊花の名残ただよう十二月五、六の両日、大徳地町誕生記念祝賀式典を挙行した。

この日県より橋本副知事、県議会議長（代理）をはじめ晴柳前代議士、隣接市町村首長、議会議長その他多数来賓を迎え、町内各官公庁、学校長、各種団体長、町議会議員町吏員等四百余名参列のもとに盛大に挙行せられた。

式は長嶺助役の開会の挨拶について、伊藤町長の力強い式辞、自治功労者、合併功労者の表彰に次ぎ小沢知事（橋本副知事代読）その他来賓の祝辞などなごやかな中にも厳しゆくに行われ、参会者一同心から大徳地町の将来を祝福し橋本副知事の音頭で万才高唱閉式した。

折から出雲地区小、中学、高校生などの繰り出した延々長蛇の旗行列は、さしもの公民館の広庭を旗の波で埋めつくし、堀商工会主催の餅まき打上花火などで祝賀気分は最高潮に達した頃、来賓、参列者一同堀中講堂に於て祝宴となり、主客歓をつくして大徳地町の前途を祝つた。

一方第一日（五日）の余興のトップを切り、地元商工会及有志の肝いりで菊の芽会の大舞踊、夜は出雲青年団の三つの歌劇など盛会裡に祝賀第一日を終つた。

第二日（六日）は体育祭として、野球（八坂中学校）武道大会（堀中学校）相撲（堀中学校）及農業祭の開幕など早朝より多彩な行事の繰り展げられる中を堀地区有志、商工会の繰り出した仮装行列のシヤギリ隊は車を連ねて島地、串、八坂、柚野の各地を歴訪大いに気勢をあげた

午后二時半中央、出雲公民館では柚野地区明朗会の諸有志によつて芝居「女三界愛の情」が熱演せられ超満員の大観衆に多大の感銘を与え、夜は県警察本部ブラスバンドによる豪華な吹奏楽の大演奏に聴衆を魅了し、終つて佐波警察署長の発声で大徳地町万才を三唱二日に亘る祝賀行事の幕をとぢた。

豊年祭 農業祭 盛大に挙行せられる

徳地町誕生記念祝賀行事の一環として島地中学校を会場に、十二月六、七の両日盛大な豊年祭農業祭が挙行せられた。

会場には郷土の特産物として古来名声高い徳地紙、わさび、こんにやくをはじめ、米雑穀、豆類、野菜類等の農林産物、学生の手芸品等が見事に陳列してあり、その他各種農林統計も展示せられ参観者の目を引いた。

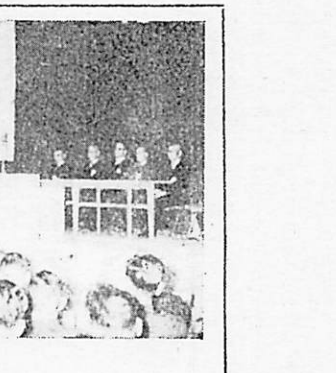
二階講堂に於ては各地区4Hクラブ員、生活クラブ員の豊富な研究体験の発表会も開かれており、校庭には山口、防府、徳山地区業者参加による農機具展が行われ、出雲大社周防分院の秋祭と呼応して町外よりの参加者も迎えて盛会であつた。

七日午后二時よりは各分野にわたる優秀成績者に対する表彰が行われ参加者一同感激を新にしてそれぞれ帰途についたが、この催は農林水産経営の改善発達に生活改善方面に大きなこうけんと、指導的役割を果し得るものとその成果に多大の期待がせよられている。

写真説明
上は徳地町誕生記念祝賀式典会場
下は島地中学校で開催せられた農業祭会場入口

柚野地区公共建物竣工式挙行

柚野地区では兼ねてより佐波川ダム築造に伴つて、水没の運命にあつた柚野支所、柚野小、中学校、駐在所等公共建物を移転改築工事中で、既に柚野支所、駐在所及柚木地区に新築の診療所は完工していたが、今回小中学校の新改築の完工をまつて、来る十二月二十六日これ等公共建物全部の竣工式を柚野中、小学校に於て行われる予定である。



（写真は町地徳大誕生記念式典にて
伊藤町長辞式）

最近に於ける中ソの眞相
辻政信氏の時局講演

町では西下遊説中の自由民主党代議士（元陸軍大佐大本営参謀）を迎えて、十二月十三日午前八時五十分から出雲公民館に於て、時局大講演会を開催したが、早朝より約五百余名の聴衆が会場に詰めかけ、文字通り立錐の余地のない有様で一最近に於ける中ソの真相」と題し別項要旨の如く話され聴衆に多大の感銘を与え盛会裡に終了した。

講演要旨次の通り

私は去る九月国会議員団の一員として、中ソを訪問四十余日に亘り彼地を視察旅行したが、他の議員諸君が唯表面のみ見て来たのに反し、私はあつて連、中国の語学に自信があつたので、主として裏面の観察に重点をおき、その他社会の暗黒面までこの目で見て来たが、この結果に基いて出された結論であると前提して、先づ現在の中共が過去の中国例と違つている点を数個の具体的に語られ結論として所下之の在の中共は、上一要えしてあく上の共すし、まで質実剛建に建設えの希望の意慾に燃えて明日の星下になりふりかまわず働いている点いえる、要するに十年前の中国と現在では可成りの進歩の跡が見られ、国民感情の面からも決して日本人に対して悪くはないと結論され、続いて訪ソ状況については、ソ連農業政策の失敗コルホーズ（集団農場）ソ連国民生活について権力者と被支配者の生活の大きい点を挙げられ、政治面に於ては、スターリン死后はフルシチョフ、ブルガーニンその他一連の権力保持者がスターリンの後継者であるが、第二第三のベリヤ事件が予想される力と暗黒政治だと破破せられたの経済面ではソ連経済は平和産業を進めているように見え、従つて一般国民の生活程度は非常に低い、一般国民感情からも推してソ連、国民の大多数は絶対戦争に反対している。

ならないとはソ連の指者迄達然しこの注意しなければ面までこの目で見て来たが、のいう「平和とは両手に武器をもつて守るべきだ」レーニン、スターリンの教えによつて世界を指導せよ、又愛国主義、帝国主義、英雄崇拝主義、学校児童を教育しているということであろう。

最后に日本を愛するものは日本人以外にない、アジアを愛するものはアジア人のみだ、この当然の理くつを銘記して、全世界を原爆戦争の危険から守らなければならない。

（文責在記者）

寒空も愛の心で温かく
歳末たすけあい運動

今年も例年の通り十二月中を「歳末たすけあい運動」が展開されています。

お正月の餅さえつくことのできない家庭、働きたくても職のない家庭、老人の家庭、愛し子に肌着一枚買えぬ母子家庭、病人をかゝえ困つている家庭その他不幸な人々がたくさんあります。

このような恵まれない人々に温いの愛の手をさしのべ、たすけあいの真心をもつて、りあげる奉仕活動で明るい郷土を建設しようという運動です。

皆さまの御協力をお願いします。

インフルエンザに対する備えはよいですか

かぜは万病の元と云はれております。かぜをひかないよう注意して下さい。

一、充分な睡眠と保温と栄養に注意して全身の抵抗力を高めて過労や不摂生等は特に慎むこと

二、毎日濡タオル又は乾布で全身を摩擦して皮膚の抵抗力をたかめておくこと

三、流行期には出来るだけ人混をさけ、止むを得ない場合はマスクを使用すること

四、外出から帰つたら必ずウガイを励行すること

五、若し感冒に罹つたら早く暖かくして床に就き安静にして医師の指示を受け他の病気の併発に注意すること

六、他の人に伝染させぬように寝室を別にしてマスクを使用すること

七、室内は度々空気の入れ替様に努め寝具や衣類は、しばし日光消毒を行い十分乾燥するよう心掛けること

（衛生係）

催開に大盛大徳地町誕生記念体育祭

町では祝賀行事の一環として、去る十二月三日駅伝競走を全六日休育祭一連の行事を実施したが、各会場三百余名の選手参加熱戦を展開盛会であつた。

（大徳地町支所前スタート　第1回駅伝競走瞬一の張緊直前）

因に試合成績次の通り

括弧内数字は順位を示す

◎駅伝競走（柚野〜島地間）

(1)串中　(2)八坂中　(3)堀中

(1)島地A　(2)八坂A　(3)柚野A

◎野球（於八坂中学校）

佐波高A　佐波高B

佐波高22－3八坂教員

◎柔道（於堀小学校）

(1)青年の部　(1)八坂青年団　(2)出雲クラブ

佐波警察署

(3)個人有段者の部　(2)山田節夫

(1)中野正喜

(3)佐藤貫一

個人段外の部

○　●　○　●　○　●　○　●

（大徳地町誕生記念体育祭堀小合同柔道試合に於ける相撲）

歳末は犯罪に御用心
明かるいお正月を迎える爲に

歳末は何彼と忙しい時で、自然と気分も落ちつかず、いろいろな注意も怠りがちなものです。

このような時を狙つて窃盗スリ、かつぱらい、強盗、押売りなどの犯罪が非常に増えてきます。

こうした犯罪は私たちが少し注意してさえすれば未然に防ぐことができるものです。

買物や用事でちよつと家をあけるときには、窓戸に入られないように、戸締を厳重にして、お隣の人に頼んでおくようにしましょう。

(2)押売り、強盗などが入らないよう、出入口や窓、扉などは夜だけでなく昼間でも鍵をかけておくべく分散して、しまつておきましょう。

(3)外出の時、人混みの中で見せ物や貴重品はなるべく鍵をかけておくようにしましょう。

(1)西川唯夫　(2)岸本寿治

(3)伊藤豪

高校の部

(1)藤本義治　(2)硬永照人

(3)松田強

◎剣道の部（於堀小学校）

(1)出雲クラブ

個人有段者の部

(2)山本一美

(3)小谷永久

(2)八坂

(3)柚野

団体の部

個人段外者の部

(2)重田建治

(3)藤井淳美

(1)白上弘一

(3)佐藤貫一

個人段外の部

ついていますとスリに狙われます。

カバン、ハンドバック、風呂敷などに充分注意しましょう。

銀行などで大金を受取るさいには被害をうけた時の打撃も大きいので、受取りの際や帰り道には周囲に気を配り間近いの起らないようにしましょう。

又年末には気分の焦りから暴力さたや、ユスリ、タカリなどの犯罪も多くなりますからくれぐれも用心しましょう。

もしも犯罪が発生したら目げれる者や被害者は、後難をおそれることなく、進んで警察に届けて下さい。

みんな事故なく朗かに楽しいお正月を迎えましょう。

（警察の窓口より）

団防消町地徳
新発足を見る

町では去る十一月二十一日出雲公民館に旧各村消防団幹部を招集、消防機構の統合整備問題を中心に協議したが、この結果徳地町消防団として新発足することになり、本部を町役場内に置き、分団を各旧村の地域に設置し、その人事について方場一致を以て町長に推せんした、これに基き全日附で町長より新幹部の任命が発令された。

本部関係次の通り

徳地町消防団長　藤本経雄

〃　副団長　石丸義治

〃　原勇

越冬昆虫駆除の講習会

蠅や蚊、鼠の居ない健康な明るい生活の出来る町をつくるため次の様な計画で講習会を開催しますので多数お誘い合せの上、受講下さい。

十二月二十二日

自午前十時　至三時

場所　出雲公民館

講師　県公衆衛生課係官

防府保健所　吉原技師

1 当日主なる内容

厚生省より表彰を受けた串安谷地区衛生自治会の誕生より現在迄の経過報告

2 「蚊とはえのいない」実践

3 遅効三千年計画について

越冬昆虫駆除の方法及薬剤の使用方法

4 映画（衛生関係）

5 研究発表

4Hクラブ村つくり運動
佐波防府地区コンクール

農村青年の農業の改良、生活の向上改善の実践活動を広く公民館展示して、最后の締くくり鼓舞激励し、一般社会の理解と協力を求めるべく、新生運動の推進としてのクラブ活動を活潑化し、農村青年の意識の向上を計る目的で、十二月二十一日午前九時から出雲公民館で開催せられる。

編集后記
さらば1955年

人こそ知られ年のとりようこそさまざまなれ。

これは西鶴の世間胸算用の言葉だが、昭和三十年も間もなく終幕のベルが鳴りわたろうとしている。

四幕三六五場に及ぶ大芝居を、人それぞれに思い思いの印象を刻みつけて、遠い空の彼方え消え去つてゆくであろう。

とまれ、吾人はここで過ぎし一年を静かに反省し、その中から明年の糧を引き出さねばならない。

古諺に「一年の計は元旦にあり、一日の計は朝にあり」と何事によらず初めの大切なこそ一層大切でもある。

始めは処女の如く終りは脱兎の如くは処女の如くなく。

当初の目標なり計画が如何に綿密周到でも、最后の通りに実行にやらなければ、くやむ得ずうちに、何の収穫もなかろう。

明日えの発展もない。

1955年の終幕に当り各人各様の一年の総結算をと提唱する所以である。

クリスマスツリーお正月の門松は自粛しよう

本年も残り少くなり、クリスマスや「松竹立てて」と況うお正月の足音が近づいてきました。

日本人にとつて門松を除いたお正月はなんとなく無味かんそうな心持がするでしょう。

と言つてせつ角太りつゝある松の幹を切りとつて使うことは、森林資源の不足している現在ぜひやめたいものです。

県下で四〇万本の小松が使われそのうち二五万本の心木が使われるとしますと、三十年后にはその松は立派に成長して、十二坪の家が二〇〇戸建てられるわけです。

毎年これだけの小松が一時の飾りに使われているのは、ほんとうにおしいことです。

そこでクリスマスツリーには大樹の枝を利用するとか、正月用の門松には脇枝や「門松カード」のような代用品を使つて未来の森林資源を愛護するよう、お互に協力し合おうではありませんか。